



# プライスコレクション The Price Collection **JAKUCHU** and The Age of Imagination **若冲と江戸絵画展**

2006年9月23日土祝——11月5日日

開館時間——午前9時30分—午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日——月曜日、ただし10月9日月祝は開館し、翌日10日火は休館

**京都国立近代美術館**

(岡崎公園内)

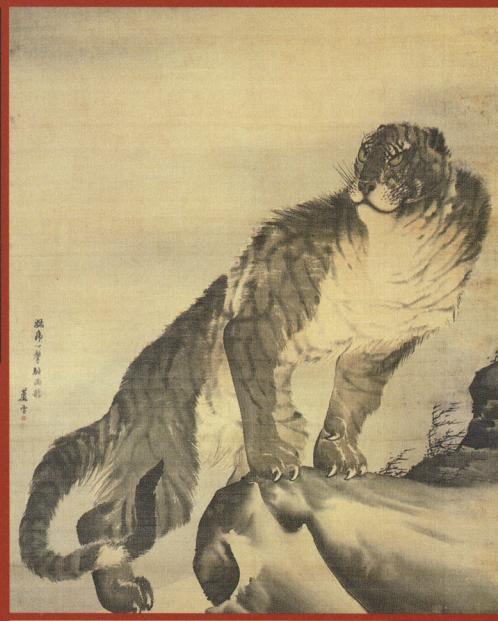
主催：京都国立近代美術館、京都新聞社、日本経済新聞社

特別協力：財団 心遠館

後援：アメリカ大使館、南カリフォルニア日米協会

協賛：NEC、日本興亜損害保険

協力：ロサンゼルス・カウンティ美術館、日本航空



# プライスコレクション The Price Collection **JAKUCHU** and The Age of Imagination 若冲と江戸絵画展

アメリカ・カリフォルニアのプライスコレクションは、魅力に満ちた江戸絵画のコレクションとして世界的に知られています。半世紀前、ジョー・プライス氏は当時美術史家にも見過ごされていた江戸時代の個性的な画家たちの作品に目を奪われ、収集を始めました。プライス氏の財団の名前として用いられている「心遠館(しんえんかん)」が、近年注目を集めている伊藤若冲の堂号「心遠館」に由来していることからもわかるように、コレクションの中心は若冲の作品です。また円山応挙、長沢芦雪、森狙仙といった上方の画家や、酒井抱一、鈴木其一などの江戸琳派の画家たち、あるいは肉筆浮世絵など、近年になって大きな関心が寄せられるようになったジャンルの優れた作品が数多くコレクションされています。

本展は、プライスコレクションの約600点の絵画作品の中から、選りすぐりの109点で構成されます。そのうち8点は、「親と子のギャラリー：鬼と江戸の動物たち」と題して、4階コレクションギャラリーに設けられる一室に展示されます。また1階には、日本の伝統的室内空間のように、移り変わる自然の光で作品を鑑賞できる一室を設け、創造性に富んだ江戸絵画の新たな魅力をお楽しみ頂きます。

(※会期中展示替えを行います。前期展示は9月23日から10月15日まで、後期展示は10月17日から11月5日までです。各作品の展示期間についてはお問い合わせ下さい。)

## 講演会

いずれも京都国立近代美術館1階講堂にて  
(定員100名、聴講無料、午後0時30分から会場受付で整理券を発行いたします。)

9月23日 土 **祝** 午後1時30分～午後2時

「なぜ、どのように江戸絵画に魅了されていったのか」

ジョー・プライス氏(財団 心遠館 理事長)

10月14日 土 午後1時30分～午後3時

「プライスコレクションにおける京都の絵画」

並木誠士氏(京都工芸繊維大学大学院教授)

観覧料＝一般：1300(1100／1000)円、大学生：900(700／600)円、高校生：700(500／400)円

※中学生以下は無料 ※( )内は前売券／20名以上の団体料金

主な前売券発売所＝チケットぴあ(Pコード:686-861)、ファミリーマート、サークルK、サンクス、

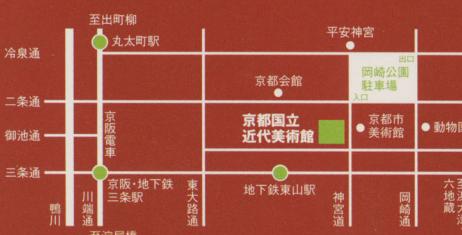
ローソンチケット(Lコード:53966)ほか主要ブレイガイド、コンビニエンスストアなど

※会期中、半券をご提示くださいばれば、2回目以降は団体料金でご鑑賞いただけます。

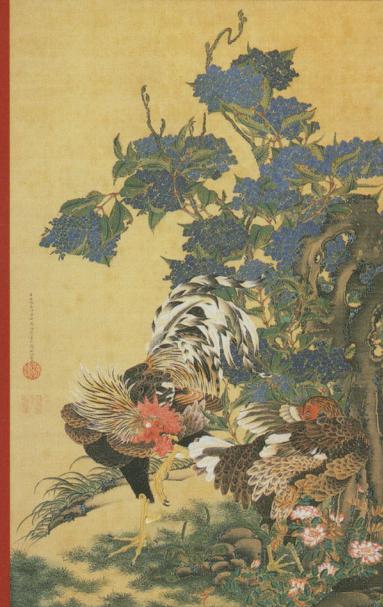
テレホンサービス(展覧会のご案内)＝075-761-9900 ホームページ＝<http://www.momak.go.jp>

展覧会のお問い合わせ＝京都国立近代美術館〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話：075-761-4111

展覧会オフィシャルサイト＝<http://www.jakuchu.jp/>



[交通] ●JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5岩倉行または57錦林車庫行「京都会館美術館前」下車 ●JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100(急行)銀閣寺行「京都会館美術館前」下車 ●阪急鳥丸・河原町駅、京阪三条駅から市バス5岩倉行または57錦林車庫行「京都会館美術館前」下車 ●阪急烏丸・河原町、京阪四条駅から市バス46平安神宮行「京都会館美術館前」下車 ●市バス他系統「東山二条」または「京都会館美術館前」下車徒歩5分 ●地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約5分 ●お車でお越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越し下さい。



1. 伊藤若冲／鳥獸花木図屏風(右隻)
2. 長沢芦雪／猛虎図
3. 磯田湖龍斎／雪中美人図
4. 伊藤若冲／紫陽花双鶴図
5. 鈴木其一／漁樵図屏風(左隻)
6. 酒井抱一／十二か月花鳥図(右:五月、左:八月)

